

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	唐津市立鏡山小学校									
1 前年度 評価結果の概要	・業務改善、教職員の働き方改革を推進し、自らの授業を磨いたり、日々の生活を豊かにすることで、自らの人間性を高め子ども達に効果的な教育活動を行う。 ・児童が、自他の生命を尊重し、思いやりをもって他者に接することができるよう、人権教育や道徳の授業を充実を図る。									
2 学校教育目標	自ら考え行動し いきいきと学ぶ児童の育成									
3 本年度の重点目標	【知】 ① 学習規律を整える。 ② 個別最適な学びと協力的な学びを通して、主体的にいきいきと学ぶ児童を育成する。 ③ 家庭学習の工夫。 【徳】 ① 児童・保護者・職員の心の教育を充実するために、校内体制を整える。 ② 特別支援教育の充実を図る。 【体】 ① 保護者と共に食育を推進する。 ② 望ましい生活習慣を身に付けるために、家庭での生活習慣に対する意識を高める。									
4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目										
	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○資質・能力を育成する授業についての 共通理解・共通実践 ○学習規律の確立 ・「か・つ・おタイム」の徹底 か・・・片付け つ・・・次の時間の準備 お・・・お茶・おトイレ	○「学力向上対策評価シート【共通実践】に 基づき、授業改善に努めることができます か」の質問に対し、肯定的な回答をした教師8 5％以上 ○「次の授業の準備をして休み時間を過ごすこ とができますか」「授業が始まる前に席につ くことができますか」の質問に対し、肯定的 な回答をした児童85％以上	・学力向上対策評価シートを校内研究と連 携させ、より取り組みやすくする。 ・校内研修で定期的に学力向上対策評価 シートを振り返り、意識化を図る。 ・校内研究により、取組の促進を図る。 ・年3回「『か・つ・おタイム』強化週間」を設 定し、児童への意識化を図る。				・		学習指導部 研究推進部	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する 心、他者への思いやりや社会性、倫理観 や正義感、感動する心など、豊かな心を身 に付ける教育活動	○「友達を大切にして良い関係を築き、楽しく学校生 活を送ることができていますか」の項目で肯定的な 回答をした児童85％以上	・学期に1回、低中高学年別の人権学習を実 施し、人権に関わるアンケートを実施する。				・		道徳教育推進教師 人権・同和教育担当 各学年主任	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた 取組の充実	○「学校は楽しいですか」の質問に対し、肯定的 な回答をした児童85％以上 ○認知したいじめの3か月以内での解消率 100％を目指す	・構成的エンカウンターやソーシャルスキ ルトレーニングなどを取り入れた授業実践を 重ねる。 ・児童の様子に目を配り、気になることは 「校内いじめ防止対策委員会」を開き、組 織的に対応していく。				・		生活指導部 各学年主任	
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実 現に向けて意欲的に取り組もうとするた めの教育活動	●◎「先生はあなたのよいところを認めてくれ ていると思いますか」の質問に対し、肯定的に回 答した児童85％以上 ●◎「将来の夢や目標を持っていますか」の質 問に対し、肯定的な回答をした児童90％以上	・各種体験活動では、児童に活動の見通し を持たせ、学びの振り返りを行う活動を仕 組み、自己の褒容に気付かせていく。ま た、教師は活動の過程において児童に1日 に1回以上肯定的な声かけをするように意 識する。				・		主幹教諭・教務主任	
	○◎児童が自分や友達の良さを認めるこ とができる態度を育てる教育活動	○◎「自分や友達の良さをみつけようとしていま すか」の質問に対し、肯定的に回答した児童8 5％以上	・各学年グループまたは、低中高学年グ ループで学期に1回ずつ人権学習を行い、 人権意識を高めるとともに、友達の良いと ころを見つける活動を充実させる。				・		道徳教育推進教師 人権・同和教育担当 各学年主任	
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の 育成」	●「健康に良い食事をしていますか」の質問に 対し、肯定的に回答した児童90％以上	・食事の大切さを実感したり、命を作る人 （農業・畜産）への感謝の気持ちを持ったり できるように給食時間や道徳の時間に学 年に応じて指導を行う。 ・年に2回、食に関するアンケートを実施す る。				・		健康指導部 学校栄養職員 養護教諭	
	○運動習慣の定着化	○「授業以外で、運動やスポーツに進んで取り 組んでいますか」の質問に対して肯定的に回答 した児童80％以上	・スポーツチャレンジへの取組を推奨する。 ・運動できる場を確保するため、朝の時間 の運動場の開放を行う。				・		健康指導部 学校栄養職員 養護教諭	
●業務改善・教職員の働き 方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間 の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間 の上限を遵守する	・職員会議資料等のデジタル化を進め、効 率化を図る。 ・PDCAサイクルを意識し、行事の精選やス ムーズな運営に生かす。				・		企画会	
	○教職員の連携促進	○「学年や部会など仕事が平準化できるように 主体的に連携しようと考えていますか」の質問に 対し、肯定的な回答をした職員70％以上	・業務の負担に偏りがないか、企画会、運 営委員会で情報共有し、対応する。				・		企画会	
●特別支援教育の充実	○特別支援教育への理解推進・支援体制 の確立	○「密に職員同士で情報交換を行い、具体的 な手立てをもって支援することができましたか」 の質問に対して肯定的な回答をした職員90％以 上 ○「特別支援教育に関する通信を読んでいます か」の質問に対し、肯定的な回答をした保護者 80％以上	・特別支援担当者が学級担任や生活支援 員と密に情報交換を行い、児童の状況を 適切につかみ、具体的な手立てをもって支 援する。 ・保護者の必要としている情報を把握し、 特別支援部より通信を年5回程度発行し特 別支援教育についての理解を図る。				・		特別支援部	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者
	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)	・			・		・		
○	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)	・			・		・		
●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育										
5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・									